

JCMU newsletter

ミシガン州立大学連合日本センター

The Japan Center For Michigan Universities

No. 37
2005 夏

Director's Report

Jeffrey Johnson,

Director of Japan Center for Michigan Universities

Summer session for the Intensive Japanese language program is under way. At this point the summer students seem to be studious and well behaved so we are quite content. Our Student Services Coordinator, Karen Craig, has her finger on the pulse of each group and she expects this summer's group to be a very good one.

JCMU is once again operating beyond capacity, and this summer that is true in two ways: we have 59 summer course students, and 10 Expo Guides - that is 138%! Down from 146% in the spring semester! All the students of the two Expo groups have been highly motivated from start to finish. High motivation among the students makes everyone's job easier.

The word from the US Pavilion staff and from MSU alum, Doug West, is that the guides are doing a great job. JCMU representatives have been at all the major pavilion events to this point and we concur, the guides are fantastic! Our new group of 10 guides will start working at the Pavilion in late June and the overall Japanese level of the guides will increase dramatically with the influx of these new guides.

While the guide training has meant increased strain on the faculty and staff of JCMU it has also been very rewarding to visit the US Pavilion and see the fruits of our labor. We get to see the guides interacting with the crowds and fluent in the language and subject matter that made up their coursework at JCMU. Seeing them in this way is something which we could never experience with the students of the regular course. It is truly rewarding!



愛知万博アメリカ館にて訪問者の質問に答えるガイドのマイケル・マニユザックさん

ディレクターズ・レポート

ジェフリー・ジョンソン

ミシガン州立大学連合日本センター所長

JCMUでは現在、夏期日本語集中コースが行われています。現時点まで学生たちは、まじめに熱心に取り組んでいるようで、私たちはたいへん満足しております。各学生グループの実情を把握している学生サービス係のカレン・クレイグも、今回の学生たちがとてもよいグループになると感じています。

JCMUは現在もまた、収容能力を超える人数を受け入れています。

59名の夏期コースの学生に加え、10名の万博ガイド養成コースの学生がおり、合計69名となっております。これは春期の46%超からは減少したものの、依然収容能力を38%上回っています。前回と今回の2回の万博ガイド養成コースのグループは、コースの始めから終わりまでやる気に満ちており、その勤勉さのおかげで、教職員は仕事を進めやすくなっています。

愛知万博アメリカ館のスタッフでミシガン州立大学OBのダグ・ウェスト氏からは、「アメリカ館のガイドたちはとてもよくやってくれています」との言葉が届いています。また、これまでアメリカ館の主要なイベントに参加してきた私たちJCMU職員も、「ガイドたちはすばらしい」と同じ意見を持っております。6月下旬からは、後発グループ10名が万博での業務を開始します。彼らに加わることで、ガイドたちの全体的な日本語力は著しく向上します。

万博ガイド養成コースの設置により教職員の負担は増加していますが、一方において、アメリカ館を訪問し、ガイドたちのすばらしい働きぶりの中に私たちの成果を見たときには、たいへん報われる思いがしました。ガイドたちは、JCMUで学んだことを活かしながら、流ちょうな日本語で大勢の訪問者の方々と交流してありました。このような形でJCMU卒業生たちの活躍を見るのは、これが初めてです。通常のコースの卒業生では、このような活躍を目にする機会はなく、今回は本当に実りを実感しております。



万博特集第2弾 愛知万博アメリカ館を訪問！ JCMU卒業生たちにインタビューをしてきました！

アメリカ館のガイドはJCMUの卒業生たちです。彼らは、JCMUで習った日本語を駆使して立派にアメリカ館のガイドを務めていました。今回は、凛々しい姿でアメリカ館を盛り上げていた彼らへのインタビューから、ガイドたちの素顔をご紹介します。

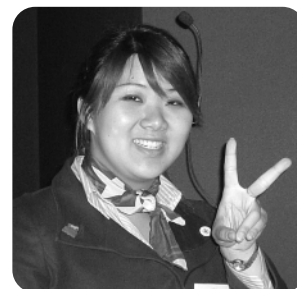
ダニエル・アイレスさん

JCMUで習った新しい言葉がガイドをする上で役立っています。例えば、「火星探査機」とか「生放送」などです。アメリカ館では、大勢の人々の前で話をする機会が多く少しいへんですが、たくさんの人に出会うことができ、毎日エキサイティングです。万博でのアメリカ館以外のお勤めは、三井・東芝館と韓国館です。いずれも映像テクノロジーがすばらしかったです。



シンシア・チャンさん

JCMUでの学習のうち、特に役立っているのは、「お気をつけてお帰りください」とか「どうぞお持ちになってください」など敬語です。アメリカ館では、スタッフやガイド同士の仲がとてもよく、とても嬉しく思っています。たいへんなことは、週に6日間働いていることです。昨日は午後5時に帰ってから、疲れていて朝までずっと寝てしまいました。万博でのアメリカ館以外のお勤めは、ドイツ館です。2時間待ちでしたが、ローラーコースターがとてもエキサイティングでした。



マシュー・シャーマンさん

万博のお勤めは、長久手日本館です。壁面が数々のビデオ画像で埋め尽くされている部屋には圧倒されました。たいへんなのは日本語を話すことです。案内する際は、セグウェイに乗っています。日本に来て初めて乗りましたが、運転は簡単です。エキスポ後は、JCMUに戻ってさらに日本語を勉強するつもりです。将来は日本の映画について学びたいと思っています。(注：“セグウェイ”は近未来型の不思議な乗り物です。アメリカ館では是非ご覧ください。)



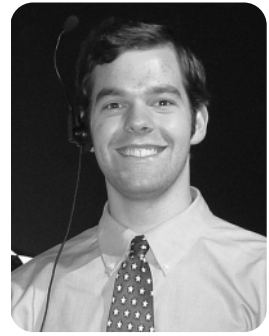
ロビン・スピーアーズさん (写真左側)

JCMUは授業構成がとてもよく、話す力の向上に役立ちました。ガイドとして心がけていることは、楽しい雰囲気を作ることです。時々、ご年配の方との会話に困難を感じてしまうこともありますが、「どうぞお進みください」というだけでなく「楽しんでください」という言葉を、いつも付け加えるようにしています。万博でエキサイティングなことは、世界各国から来た他のパビリオンのガイドに出会えることです。アメリカ館以外のお勤めは、アメリカ館の目の前にあるアルゼンチン館のタンゴ・ショーです！



デイン・シュラートさん

ガイドとして楽しいことは、子供たちとの触れあいです。いつも子供たちとの会話を楽しんでいます。ガイドとして心がけていることは、フレンドリーであることです。たいへんなことは、大勢の前で話さなくてはならないことです。毎日約1万人の方々が訪問してくださっていますが、これまであまりこのような体験をしたことがなく時々圧倒されます。でも楽しんでいます。アメリカ館以外のお勧めは、韓国館です。アニメの3D映画がとてもよかったです。エキスポ後は、JCMUに戻って勉強します。専攻は日本語と国際ビジネスです。



メリッサ・ウォーカーさん

アメリカ館のお勧めは、映像によるメイン・ショーです。ガイドとしてたいへんなことは日本語の聴き取りで、今でも毎日勉強を続けています。アメリカ館以外のお勧めは、瀬戸エリアです。自然がとてもきれいです。専攻は、ビジネスと日本語です。



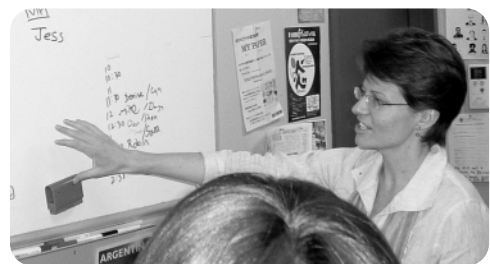
サノーバー・カーンさん

JCMUで習った敬語がとても役に立っています。「詰めていただく...」とか「こちらからお並びください」などです。嬉しかったことは、高円宮妃久子様がアメリカ館においてになり握手をしていただいたことです。「光荣です」と言いたかったのですが、何も言うことができませんでした。でも後から手を振ってくださり感激しました。心がけていることは、混雑しているときでも皆さんに少しでも和んでいただけるよう、笑顔を忘れないことです。アメリカ館以外のお勧めはパキスタン館です。ウルドゥー語を話せるので、パキスタン館での通訳のお手伝いもさせていただいています。滋賀県では、高校生の時に2度ホームステイをさせていただきました。第二の故郷である滋賀県やホストファミリーが懐かしいです。



最後にガイドマネージャーの ミシェル・ブードウルマンさんから一言

JCMUとアメリカ館の連携により、アメリカ全土から集まった学生たちは皆、非常に素晴らしい体験をしています。ガイドたちに日本語と日本の心を教えてくださったJCMUのスタッフの皆さんに、心からの感謝の気持ちを伝えたいと思います。



< 編集後記 > ガイドたちは、日本語の丁寧な言い回しに苦心しているようでしたが、いずれのガイドからも、訪問されるすべての方に楽しんでいただきたいとの思いが強く伝わってきました。日本語については、彼らを教えていたJCMU日本語講師によると、「みんなイントネーションがよくなり、反応も早くなっています。」とのことでした。これから万博に行かれる方は、アメリカ館でのガイドとの会話も是非お楽しみください！
(写真はアメリカ館前のライブステージでのコンサートの様子です。)

《秋学期英語プログラムごあんない》

開講期間 2005年9月20日(火)~12月9日(金)

英語集中コース

月~金 10:00~12:00 13:10~15:10

留学・進学・転職・自己啓発のための英語総合力アップを図るコースです。午前中のみ受講できるモーニングコースもあります。

アメリカからの留学生向け付属寮にルームメイトとして入寮できます。

スキル・テーマ別コース

週1~2回 10:00~12:00 13:10~15:10

あなたの目的・時間にあわせて、「スピーキング・リスニング」、「ライティング」、「アメリカ・オン・ビデオ」総合英語の実力アップを図るための4つのコースがあります。

夜間コース

月・木 週2回 19:00~20:30

実用英会話ブラッシュアップのための夜間コースです。

申込締切 2005年9月7日(水)

詳しくは、ミシガン州立大学連合日本センター
TEL 0749-26-3400 までお問い合わせください。

ホームページができましたので、是非ご利用ください。
<http://www.jcmu.net>

大津でも夜間コースを開講します！

開講期間:2005年9月21日(水)~12月14日(水)

時間:毎週水曜日 19:00~20:30

場所:ピアザ淡海

(大津市におの浜一丁目(びわ湖ホール東隣))

申込締切:2005年9月13日(火)

2005年度 行事予定

9/9 金 日本語&日本文化プログラム
(秋学期) 始業式

9/20 火 英語プログラム秋学期開講

11/中旬 第50回公開講座

長期ホストファミリー募集

ミシガン州立大学連合日本センターでは、アメリカ・ミシガン州を中心に、全米の大学から来日している留学生のホストファミリーを随時募集しています。留学生たちは、日本語、日本文化に興味をもち、日本の家庭で生活しながら、日本人とのふれあいを求めています。ひとりでも多くの留学生がホームステイの体験ができるようご協力いただければ幸いです。当センターまでの通学所要時間が1時間程度の範囲のご家庭であること、などの条件がございます。

詳しくは下記までお問い合わせください。

《鷺は立ての跡濁さぬ》

草木が芽吹く4月の中頃、JCMUでは、2004年度の日本語・日本文化/社会プログラム及び英語プログラムの修了生を送り出しました。5月には、学生たちが「先住民族アイヌ」、「戦後の日本」等のテーマをもって研鑽していたMay Programも終了し、英語プログラムとExpo Guide Programの第二グループの学生が、小人数ながら、なお引き続き学んでいます。大津で新しく開講した英語プログラムも大きな成果が期待できそうです。

そして6月、夏期集中講座 Summer Intensive Japanese Language Program が始まりました。学生が大挙来日し、校内は活気に満ち溢れています。学生たちは意欲を持って学習に取り組んでいます。学生の多くは、始業前や放課後には、近くの「さざ波立つ千々の松原」で憩います。散策や木陰で読書を楽しみます。白砂と青松の汀が1 Kmに渡り続いており、遠浅で水泳場としても知られています。北方を仰げば、県下最高峰の伊吹山の雄姿が陽の光を浴びて輝き、方向によって様々な島の姿を見せることから名づけられたという多景島を臨む眺めがとてすばらしく、また夕陽を受けたさざ波、日没の様子は華麗です。

彦根八景の一つでもあるこの景勝地、学生たちだけではなく、家族、グループと多くの人々が行楽に訪れます。矢倉川河口付近でも、早朝や夕刻、太公望が糸を垂れています。

しかし行楽客が帰った後、時には、残念ながらごみが散乱しています。

東京ディズニーランドに遊んだ人が、真っ先に気付くのは、乗り物のすごさではなく、園内に、ごみがひとつもないことだといえます。Walter Elias Disney が初めて、Los Angeles でディズニーランドを作ろうと思いついたとき、それこそ、ごみのランドになると言って奥様が猛反対されたそうです。その時、彼は「だからこそ作るのです。ごみは放かさななんだよ、と子供たちにわからせるために作るのです」といいました。彼の気持ちが各国のディズニーランドにも生かされています。

また、ドイツのある町で、早朝から道路をきれいにしている人に、なぜそんなに早くから掃除をしているのですか、と聞きますと、「家の中をきれいにしているのだから、外もしなければ」と答えたといえます。掃除好きで有名なドイツ人の素敵なお考えだと思います。

「鷺は立ての跡濁さぬ(立つ鳥跡を濁さず) Cast no dirt in the well that gives you water.」と、安土桃山時代の昔からずっといわれています。「旅の恥は掻き捨て A man away from home need feel no shame.」にはなりたくありません。

ところで、さざ波立つ千々の松原に、ごみが多くて目を覆いたくなるとき、いつも、いつのまにか、きれいになっているのです。誰がやってくれているのかわかりませんが、そういう心遣いのできる人がいることをとても嬉しく思います。(真田 傳助)

Snapshots



冷やし中華の盛りつけにトライする
ジャスティン・ジョンソンさん。
ボランティアの方による夏期集中
コース学生向けの日本料理教室にて。

ミシガン州立大学連合 日本センター

〒522-0002

滋賀県彦根市松原町網代口1435-86

TEL 0749-26-3400 FAX 0749-24-9356

<http://www.jcmu.net>

編集・発行 (財)滋賀県国際協会 彦根事務所